

サカイ引越が改善策

データ・テック 第24回交流会開く

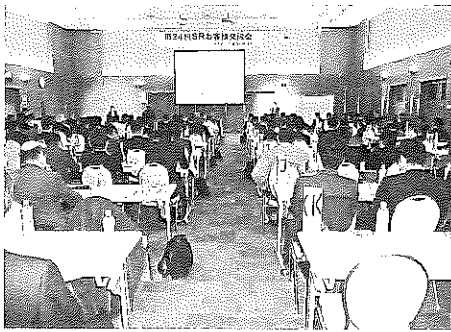
データ・テックは14日、東京・大田区の産業プラザで第24回交流会を開催した。

田野通保社長は「今、新たに車の情報をいかにスマホにつなげるか、に組み組んでいる。IOTなど技術の進化を取り入

れ、安全・安心の信頼を築き現場を守っていく」とあいさつした。

講演では、サカイ引越

センターの山野幹夫常務が「更なる安全品質の向上を目指して」と題して、急成長に伴う車両事故増加に対する改善策を



交流会の様子

紹介。安全教育研修や全車両(約3600台)へのSRの導入などにより、事故率が低下した歴史を振り返った。「新型SRの導入で更なる事故率の低下と、生

産性の向上を目指す」と話した。

越野運送の越野泰弘社長は「安全・安心・信頼のブランドを築く」をテーマに、特に後退事故の削減の取り組みを紹介。SRによる運転診断に加え、自己成長ノート(月間報告書)の活用成果などを報告。国土交通大

臣表彰を受けた同社のグリーン物流(モーダルシフト+CNGトラックによるミルクラン配送)も紹介した。

また、ドコモ・システムズは、通信型ドライブレコーダーを活用したクラウド型車両運行管理サービス「docoですcar」を説明した。